

科 目 名	人間発達学【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	久 保 温 子						
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	人間は生涯にわたって発達する存在として捉え、胎生期から高齢期にいたる各ライフステージについて、身体的、認知的、情緒的、社会的側面から概観する。特に生後1年間の発達について理解する。リハビリテーションに携わるものとして不可欠な人間発達に関する基礎的な理解を深めることで今後の専門科目、臨床実習へと繋がられるような講義を行う。						
授 業 の 到達目標	1) 知識・理解 ・理学・作業療法士として発達を理解する意義を理解する。 ・生後1年間に見られる反射について理解し説明出来る。 ・生後1年間の正常発達について理解し説明出来る。 2) 思考・判断 ・乳幼児期の発達課題について説明できる。 ・思春期、青年期の発達とその課題について理解する。 ・成人期、高齢期の発達とその課題について理解する。 3) 関心・意欲 ・人間発達に関心や興味を持つようになる						
学 習 方 法	講義・レポート						
テキスト及び 参考書等	テキスト：1. 標準理学療法学・作業療法学 人間発達学 岩崎清隆ら 医学書院 2. J. H. de Haas 監修、高橋孝文監訳、拓桃医療療育センター訳『乳児の発達－写真でみる0歳児－』医歯薬出版						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度		技能・表現		
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		○	◎			25	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○			15	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	人間発達を学ぶ意義						
第 2 週	発達概念・理論						
第 3 週	新生児期の生理・反射						
第 4 週	新生児期の生理・反射						
第 5 週	新生児期の生理・反射						
第 6 週	乳幼児の発達のまとめ（レポート課題提示）						
第 7 週	正常発達 1						
第 8 週	正常発達 2						
第 9 週	正常発達 3						
第 10 週	正常発達 4						
第 11 週	正常発達 5						
第 12 週	思春期以降の発達						
第 13 週	遊びの発達						
第 14 週	ことばの発達						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	事前学習：シラバスに沿ってプリントを準備すること。 事後学習：講義で使うプリントを仕上げ暗記すること。						